

中部保健所管内 感染症発生動向調査情報

2025/4/7

～

2025/4/13

発 令 中 の 警 報 ／ 注 意 報	県 全 体	〈警報〉	流行性角結膜炎	〈注意報〉	なし
	各 保 健 所	警報	中部保健所：なし 八重山保健所：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎		
		注意報	中部保健所：なし		

『流行性角結膜炎』【警報発令中】

病原体：アデノウイルス

感染経路：接触感染

患者が目を触った手でモノを触り、他の人がそれに触って目をこするなどして感染

潜伏期間：1～2週間程度

症状：結膜の腫れや充血、まぶたの腫れが強く、「涙が出る」「めやにが出る」などの症状を伴う。

予防：接触感染予防の徹底。手洗い、タオルを共有しないなど。

治療：有効な治療薬はありません。対症療法になります。

※ 学校保健安全法では、医師において感染のおそれがないと認められるまで出席停止となります。

『百日咳』過去最多を大きく上回るペースで増加しています！

百日咳は感染力が強く、乳幼児が感染すると重症化あるいは死にいたることもあります。感染対策には予防接種が非常に重要ですので、生後2か月になった乳児は速やかに五種（四種）混合ワクチンの接種を開始しましょう。乳幼児でまだ予防接種を受けていない場合は早めに接種をしてください。また、児童、生徒や成人では一般的に軽症となる傾向がありますが、ワクチン未接種の新生児・乳児に対する感染源となりうるため、咳が長引く場合は早めに医療機関を受診してください。

* 詳しくは[こちら](#)をご覧ください

■ 感染症の発生動向 1 類～5 類（全数把握）

		県全体	うち中部
1 類	なし		
2 類	結核	5	3
3 類	腸管出血性大腸菌感染症	1	0
4 類	レジオネラ症	2	1
5 類	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	2
	梅毒	3	1
	百日咳	21	8

■ 感染症の定点当たり報告数

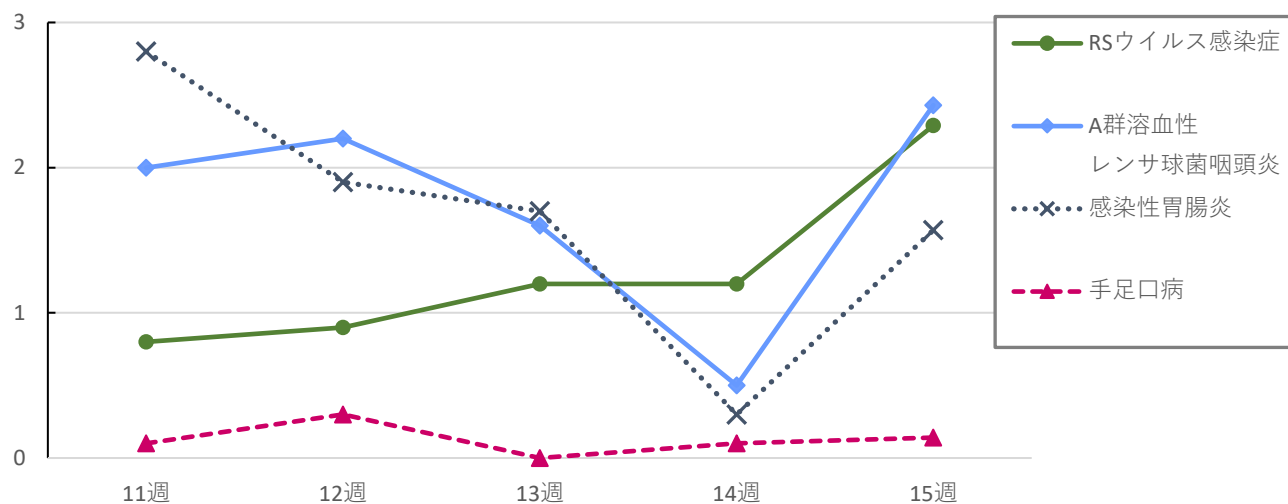
※直近 5 週間で報告された感染症のみ

	11週		12週		13週		14週		15週	
	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県
インフルエンザ	6.67	4.96	4.22	4.2	5.89	3.84	4.33	2.7	3.69	2.51
RSウイルス感染症	0.8	0.5	0.9	0.53	1.2	0.69	1.2	0.81	2.29	1.4
咽頭結膜熱	0.6	0.38	0	0.06	0.4	0.13	0.3	0.25	0	0.04
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	2.19	2.2	2.06	1.6	1.84	0.5	0.75	2.43	1.28
感染性胃腸炎	2.8	4.13	1.9	2.94	1.7	2.88	0.3	1.97	1.57	2.92
水痘	1.3	0.97	0.5	0.72	1.5	1.06	0.8	0.56	0.86	0.76
手足口病	0.1	0.16	0.3	0.25	0	0.09	0.1	0.06	0.14	0.08
伝染性紅斑	1.6	0.81	0.5	0.34	0.8	0.81	0.2	0.13	0.86	0.44
突発性発疹	0.3	0.25	0.2	0.22	0.5	0.19	0.1	0.09	0	0.12
ヘルパンギーナ	0	0.03	0	0	0	0	0	0	0	0.04
流行性耳下腺炎	0.1	0.03	0.2	0.13	0	0	0.3	0.09	0	0.08
急性出血性結膜炎	0	0	0	0.11	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	2.5	9.22	6	11	0.5	6.89	1.5	4.89	0	4.78
細菌性髄膜炎（真菌性含む）	0	0.14	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0.14	0	0.29	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0.5	0.14	1	0.43	0	0	0	0
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	0	0.14	0	0	0	0.14	0	0
COVID-19	0.94	1.68	0.94	1.09	1.33	1.41	1.17	1.11	0.54	1.11

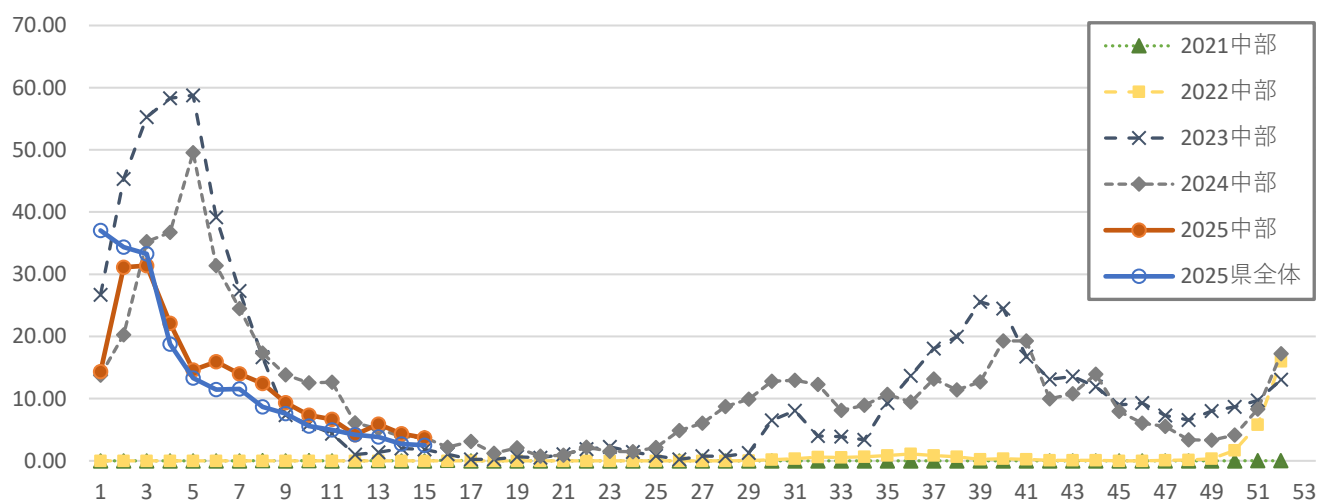
警報

注意報

■ 中部保健所管内の直近 5 週間の主な感染症の推移（10万人当たり患者数）



■ インフルエンザの過去5年の発生動向



■ 新型コロナウイルス感染症

